

〈平成 23 年度 総会〉

開 催 挨 拶

環境システム計測制御学会 会長 田 中 宏 明

平成 23 年度環境システム計測制御学会総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日ごろから、本学会 EICA をご支援いただきありがとうございます。

さて、この 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、これまでにない規模の津波を中心とした大災害を引き起こしました。この災害で亡くなりました多くの方々のご冥福をお祈りいたしますとともにご家族の方々にお悔やみを申し上げますと思います。EICA の会員、関係機関にも被災された方が多くおられますので、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

この大震災により、東北や関東の一部の地域では、大変な被害が出ました。膨大な瓦礫、上下水道事業においても甚大な被害が発生しております。今回の震災被害の特徴は、おもに津波によって引き起こされた点であり、地元の地域の方々や企業、公共団体の方々は大変な復旧作業になっているわけです。とくに EICA が深くかかわる環境インフラの電気機械系の被害がどのような状況なのかはいまだよく分かっておりません。

現在、日本学術会議を中心に 22 の学協会が連携して、震災の調査、緊急措置の提言を始めております。本学会でも環境インフラの計測制御部分での情報収集が必要となるかもしれません。

また、震災にともなう原子力発電所の事故は、我が国だけでなく世界的にも大きな衝撃を与えました。安全性神話の崩壊とともに、電力不足や今後のエネルギー供給の在り方にも大きな影響を与えようとしております。我が国の社会経済、生活も再生可能エネルギー利用型やエネルギー節約型の社会へ転換を目指すことになりそうです。また、震災の復興、復旧がこれから盛んになります



本学会は環境問題の諸分野における計測・制御・システム化に関する研究や技術の進歩発達を図り、応用的技術の普及を通じて環境問題の解決に寄与することを目的としております。今後、国内で実施される思い切った復興にあたり、様々な面から何が協力できるのかを EICA においても検討していきたいと考えます。

この総会に引き続いて行われる講演会では、東京大学大学院教授 味埜先生から記念講演「下水道とサステナビリティ」をご講演いただきます。また(財)水道技術研究センター常務理事 武内様から特別講演「海外水ビジネス」の現状と課題からご講演いただきます。いずれのお話しも、今後の我が国のあり方や本学会のあり方を考える上で、タイムリーで、極めて興味深く拝聴したいと思いますので、皆様ご期待ください。

今後とも、皆様方のこれまで以上のご支援を EICA に頂けますよう宜しく願い申し上げます。